

令和6年度
京都市衛生環境研究所年報

ANNUAL REPORT
OF
KYOTO CITY INSTITUTE OF PUBLIC HEALTH
AND
ENVIRONMENTAL SCIENCES

No.91 2025

京都市衛生環境研究所

はじめに

本年は、昭和元年から起算して満100年を迎える年となりますが、当研究所の歴史はさらに古く、大正9年に現在の東山区の今熊野旧日吉病院跡に京都市衛生試験所が開設したのが始まりとなります。大正、昭和、平成、令和とその時代に応じた役割を担ってきたところではありますが、現在では、地域における科学的かつ技術的な中核機関として感染症、食品衛生、大気及び水質の環境衛生に関する様々な検査、これらに関する調査研究や研修指導及び公衆衛生情報の収集・解析・提供を実施することで、市民の皆様の健康や安心・安全を守る役割を担っています。

このような私たちの業務は、市民の皆様の目に触れる機会が少ないですが、当研究所を知っていただく大切な取組の一つとして、小中学生向けの「夏休み体験教室」があります。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で長らく中止していましたが、令和6年度に、合築施設である京都府保健環境研究所と府市連携事業として5年ぶりに開催することが出来ました。

開催日当日、子どもたちがわくわくした様子で来所し、教室では「水の不思議を体験しよう！」をテーマに一生懸命課題に取り組んでいる姿を見て、日常が戻り、制限なく活動できる喜びを改めて実感したところです。

今後とも一般向けの教室の開催及び地域のイベントに参加するなどして、公衆衛生について情報発信の場を作っていきたいと考えております。

昨年は、大阪・関西万博が盛り上がり、未来に向けた生命科学やデジタル技術の発達を感じることができた1年でもありました。当研究所も地域における科学的かつ技術的な中核機関として、市民の皆様の健康や安全・安心を守るため、関係各機関と連携を図りながら、公衆衛生の向上及び増進に寄与してまいります。引き続き、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度における実施事業及び調査研究の成果について、年報（第91号）として取りまとめましたので、お目通しいただけると幸いです。

令和8年1月

京都市衛生環境研究所長
篠崎 史義

目次

第1 事業概要

1 沿革	1
2 施設	1
3 機構及び業務分担	2
4 試験検査	3
5 各部門の業務	4

第2 試験検査

1 生活衛生に関する試験検査 [食品化学部門、微生物部門]	8
2 食品衛生及び栄養に関する試験検査 [食品化学部門、微生物部門]	11
3 医薬品成分に関する試験検査 [食品化学部門]	21
4 微生物及び免疫に関する試験検査 [微生物部門]	22
5 衛生動物に関する検査、相談処理及び調査鑑別 [管理課]	24
6 食肉衛生に関する試験検査 [食肉検査部門]	25
7 環境に関する試験検査 [環境部門、微生物部門]	31
8 試験検査の信頼性確保業務等 [管理課]	43

第3 監視指導業務

1 京都市中央卸売市場第一市場における監視指導業務 [食品化学部門]	46
2 京都市中央卸売市場第二市場における監視指導業務 [食肉検査部門]	49
3 輸出食肉に関する食肉衛生証明書発行件数及び取扱重量 [食肉検査部門]	50

第4 普及啓発及び研修指導等

1 情報発信	51
2 各種媒体を用いた感染症情報の発信	51
3 京都府市連携 夏休み体験教室	52
4 市民及び事業者等からの相談受付件数	53
5 研修生及び見学生の受入れ	53
6 研修会等の開催	53
7 講師の派遣	54
8 委員会（協議会）の開催及び派遣	56
9 職員の技術研修等受講状況	59

第5 調査研究

1 報文

スイセンによる食中毒に対する新規検査方法の検討..... 62

令和6年 京都市感染症発生動向調査事業における病原体検査成績..... 67

2 他誌掲載論文、学会発表等

他誌掲載論文..... 79

学会発表等..... 79

3 衛生環境研究所セミナー

発表演題..... 80

令和6年度健康危機対処計画の運用について..... 81

衛生動物対策としての普及・啓発事業のあり方～イケズ虫をよく知るためには～..... 83

京都市におけるマダニの生息調査について（2024年）..... 85

保存料・甘味料一斉分析検査方法の検討..... 89

カンパチに寄生する *Unicapsula seriolae* の定性法、定量法及び顕微鏡検査法の検討..... 93

FSIS 査察に対する食肉検査部門の対応について..... 97